

第3学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国 語	<p>○話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、分かりやすく伝えられるようにする。</p> <p>○相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に表せるようにする。</p> <p>○文字の組立て方を理解し、形を整えて書くことができるようにする。</p>	<p>・スピーチメモを活用し、理由や事例等を挙げながら、話の中心が明確になるように構成を考えることができるようにする。</p> <p>・書く相手や目的に合わせて、適切な構成や書き表し方を提示し、推敲の際に意識して見直すことができるようにする。</p> <p>・へんやつくりなどから構成されていることを指導し、漢字に興味をもち、組立てを意識することができるようにする。</p>	<p>○スピーチメモを活用し、話の中心や自分の意見の根拠を明確にできる児童が増えた。</p> <p>○相手や目的を意識し、それに合わせて構成を考えたり、見直そうとしたりすることができるようになった。</p> <p>▲日常生活の中で、習った漢字を使う習慣を付ける必要がある。</p>
社 会	<p>○地図や表、資料から必要な情報を読み取る力が身に付くようにする。</p> <p>○考えたことを文章などでまとめたり、資料などを用いて説明したりできるようにする。</p>	<p>・様々な種類の資料や地図を活用し、課題に対して必要な情報を取捨選択して整理させ、課題を解決できるようにする。</p> <p>・表現方法の工夫を提示して、具体的な資料をもとに、相手に分かるようにまとめることができるようにする。</p>	<p>○資料から情報を読み取る活動を繰り返したことで、社会的事象についての理解を深めることができた。</p> <p>▲まとめる際に文やイラストだけではなく、図や資料など、その時に応じた方法でまとめる力を付ける必要がある。</p>
算 数	<p>○基礎・基本的な内容の定着を図り、学習内容の理解を深める。</p> <p>○数学的な見方・考え方を働かせ、筋道を立てて考察する力が身に付くようにする。</p>	<p>・児童の習熟度に応じて具体物を操作したり、言葉や式、図などを用いたりして学習内容の定着を図る。また、各クラスで連携を取りながら習熟度別学習を実践する。</p> <p>・数量や図形、それらの関係性に着目しやすいうように、問題の提示の仕方や発問の仕方を工夫する。また、問題を構成する要素を捉えさせ、言葉や式・図などを用いて問題を整理させる。</p>	<p>○自分の考えを書いた後に交流をすることで、言葉や式・図などを用いて自分の考えを書き表せる児童が増えた。</p> <p>▲全員が、自分の考えに自信をもって発表できるように支援を工夫する必要がある。</p>
理 科	<p>○生き物の様子や成長を理解するために、体験的な活動を取り入れるようにする。</p> <p>○物の性質についての見方を知り、実験を通して課題を解決していく力が付くようにする。</p>	<p>・様々な生き物を観察する活動を通して、生物の特徴を捉えさせ、環境との繋がりがあることを理解させる。</p> <p>・光や磁石、電気などを働かせたときの現象を比べる活動を通して、自ら興味、関心をもって課題を追究していくようにする。</p>	<p>○児童が関心をもちながら、予想を話し合ったり、予想を基に実験に取り組んだりすることができた。</p> <p>▲生き物の様子や成長について、視聴覚資料とともに、実際に観察する時間をより確保する必要がある。</p>

<p>体育</p>	<p>○それぞれの運動領域で基本的な動きや技能が身に付くようにする。</p> <p>○自己の運動の課題を明確にし、課題解決のための方法や活動を工夫できるようにする。</p>	<p>・準備運動の際に、主運動につながる動きを取り入れたり、基本的な動きが身に付く場の設定や補助具の活用をしたりする。</p> <p>・学習のめあてを明確にし、児童が自分なりの課題を見付けて授業に取り組めるようにする。</p>	<p>○準備運動と主運動の関係を意識し、主運動やその練習に生かそうとする児童が増えた。</p> <p>▲見合う活動を通して自身の課題を見付ける機会とする児童の姿が見られた。タブレット端末のより一層の活用が必要である。</p>
<p>総合</p>	<p>○自ら課題を見付け、問題を解決する力を付けるようにする。</p> <p>○自分の生活と地域との関わりについて理解し、自己の生活に生かせるようにする。</p>	<p>・自分の興味、関心から課題を設定させ、学習の見通しをもって計画的に取り組ませる。</p> <p>・地域の行事を調べたり、身近な人々の取り組みを調べたりする中で地域について理解を深め、自分の生活をよりよくできるようにする。</p>	<p>○児童自身が課題を設定し、その解決の手段を考えて活動に取り組むことができた。</p> <p>▲都・区の感染症対策に基づき、フィールドワークやインタビュー等の活動を実施していく必要がある。</p>
<p>道徳</p>	<p>○自分自身と結び付けて道徳的価値を多面的・多角的に考えられるようにする。</p> <p>○多様な視点で話し合い、自己のよりよい生き方を考えさせられるようにする。</p>	<p>・資料について自分の考えを出したり、友達の意見を聞いたりして、様々な考え方があることに気が付くようにする。</p> <p>・道徳的価値観の形成を図る観点から、書く活動や話し合う活動など自己の心情・判断等を表現する機会を充実させ、自らの道徳的な成長を実感できるようにする。</p>	<p>○学習と自分の生活を結び付けて考えさせ、自分の考えを深めることができた。</p> <p>▲他の児童の意見を聞く活動を通して、様々な考え方があることに気付き、違いを認め合えるような指導が必要である。</p>
<p>外国語活動</p>	<p>○外国語に興味、関心をもたせる。</p> <p>○言語や文化についての理解を深めるようにする。</p>	<p>・進んで外国語を使ったり、外国語が伝わる楽しさを感じ取ったりできるように、ゲームや友達との学習活動の機会を増やす。</p> <p>・外国語の音声やリズム、日本と外国語との生活習慣や行事などの違いを知る機会を増やす。</p>	<p>○ICT機器の活用、ALTとの連携等により、外国語に興味関心をもたせることができた。</p> <p>▲外国の言語や文化やその背景にある人々の生活について伝えることで、異なる文化を尊重することができるような指導をする必要がある。</p>